

# 保健体育科授業案

日時 平成27年10月23日(金) 第5校時  
生徒 2年C組 男子16名 女子17名 計33名  
授業場 体育館  
授業者 村岡愛司

---

## 1 単元名 「バレーボール」

### 2 単元について

#### (1) 単元観

新学習指導要領では、運動の「楽しさ」を前提とし、その経験の先にある生涯スポーツへとつなげる具体策が示されている。とりわけ「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる」ことがより一層強調されている。本単元であるバレーボールは、第1学年及び第2学年では基本技能を用いてラリーを続けることを重視し、相手コートに空いた場所をめぐる攻防を展開することが示されている。味方とのコミュニケーションを図り、ボール操作とボールを操作しない動きの連携によってボールをつなぎ相手コートにボールを返すというネット型球技特有のチームプレーが楽しめる競技である。

また、個人やチームの動作を分析し、課題に応じた練習の作戦を立てるなどの学習過程を通して自己の考えを述べたり、相手の話を聞いたりするなど、他者との「かかわり」の機会を持つことで、仲間の大切さを実感できる競技でもある。道徳的な視点では他者とのかかわりの中で、互いに認め合ったり、課題の達成に向けて協力したりする態度の醸成が期待できる。

#### (2) 生徒観

省略

#### (3) 指導観

##### ① 「やれること」「やるべきこと」「やりたいこと」の関係から**研究変数**

本単元であるバレーボールは、中学校入学後、初めて扱う単元である。上記の単元観、生徒観を踏まえ単元の前半はアンダーハンドパス・オーバーハンドパスの基礎技能の定着を目指し、攻防の中で、仲間とボールを「つなぐ」ことや「ひろう」ことを通してチームプレーの楽しさを味わうことができる力を身につけさせたい。保健体育科のおさえとして、「やれること」は本時までに「生徒が既習事項を身につけた技能(知識)」である。「やるべきこと」とは「目標とすべき技能の姿」であり、「やりたいこと」は「目標とすべき技能習得に向けて、自己の習得段階に応じたスモールステップを踏むこと」である。生徒が「やるべきこと」に迫るために学習カードの振り返りをもとに、自己の技能習得段階を客観的に分析させる。そうすることで自己に応じた適切な課題を持つことができ、自律的な学びの姿に向かうのではないかと考える。具体的にはICTを活用し、生徒に模範となる動作と生徒の動作を比較する部分や分析する視点を明確にさせ、「やれること」から「やるべきこと」に向けて「やりたいこと」を適切な課題として捉えて授業に臨ませることを手だてとする。

##### ② 技能習得のための言語活動をサポートする手だて**諸条件**

#### 言語活動1「話す・聞く活動」～表現力～

仲間と共に、ボールをコントロールするためのポイントについて、自分や相手の良かった点、課題となる

点を指摘しあう場を練習活動の中にとりいれていく。

**言語活動2「書く活動」～思考力・判断力～**

学習カードへ動きの感覚やイメージ，コツなどを言葉に表す活動を設ける。そうすることで授業の振り返りや整理ができ，それが次時へとつながることが期待できる。また，相手に伝える活動の際にも有効となる。

**言語活動3「討論」～企画力・実践力～**

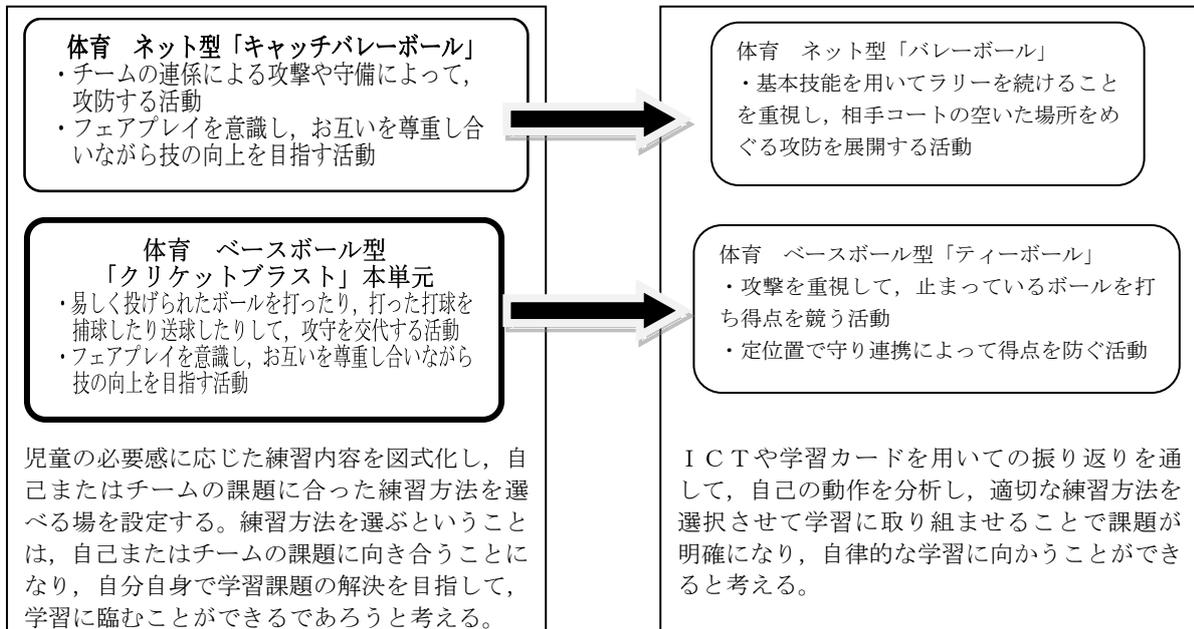
試合を円滑かつ安全に進行するために，お互いの意見を出し合いアイデアを交換して，役割分担を明確にして大会運営を工夫していく。

③協働の場を通して～課題解決場面における自律性を育むための手立て～**諸条件**

「協働」は同じ目的・目標ではあるが，個人（集団）がそれぞれのレディネスに応じた場面や動きの中で互いにアドバイスや観察しあう活動である。生徒の自律性を育むためには共同体的な学びが有効であることはこれまでの研究から知見を得ている。したがって，単元計画の中で「手だて」と関連づけて意図的なグルーピングやペアを構成して授業を展開する。

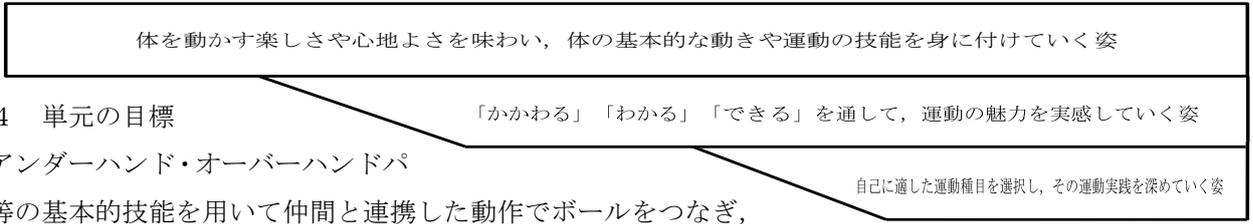
3 小中連携による研究とのかかわり

(1) 小学校の単元とのかかわり (例：球技 高学年と中学1・2年)



(2) 小中9年間を通して保健体育科で育む「自ら学ぶ意欲を創造できる児童・生徒」の姿

小1 2 3 4 5 6 中1 2 3



4 単元の目標

アンダーハンド・オーバーハンドパス等の基本的技能を用いて仲間と連携した動作でボールをつなぎ，

相手コートの空いたスペースをねらって攻撃しあうことができるようにする。また，技能の名称や原理等の理解を深めると共に，個人やチームの課題解決に向けて，互いに学習を援助しあい，自己の能力を高めたり，仲間と協力したりする態度を養う。

5 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
⑦フェアプレイを大切にしようとする	⑦自己やチームの技能に応じた練習内容を	⑦レシーブ・トスなどの基本的な動作ができ	⑦技術の名称や原理等を理解できる

④作戦などの話し合いに積極的に貢献しようとする ⑦互いに助け合い教え合おうとする	選択できる ④動作分析をして課題解決に取り組むことができる ⑦仲間に対して、技術的な課題をアドバイスすることができる	る ④役割に応じたボール操作ができる ⑦チームで連携して空いたスペースを狙った攻撃ができる	④ゲームのルールについて理解できる
---	--	---	-------------------

6 単元指導計画

	学習事項	主な学習活動・ <b>手立て</b>	評価			
			関	考	技	知
1	○オリエンテーション	○学習のねらいと学習の進め方及びバレーボールの歴史を理解する。 ○バレーボールの試合を見てイメージ化を図る ○試しのゲーム（簡易ルールで行う）				ア
2 ・ 3	○技術の名称と原理の理解	○基本的技能の名称と基本的な構え、原理を理解し、基礎・基本の技能の定着を図る。 ○様々なボール操作でバレーボールに慣れる ○バウンドパスでボールの落下点に入る感覚を養う				ア
4 ・ 5 ・ 6 (段階Ⅰ)	☆前半 個人のスキルアップ練習 ☆後半 チーム練習（ボールをつなぐ） ○2対2（コート縦割りを縦割り）  ○試しのゲームⅠ 5点1セットマッチ	○オーバーハンドパス、アンダーハンドパスの映像を見てイメージ化を図る ◆個人のスキルアップ練習 自己の技能に応じた練習内容を選択する iPadを活用して動作分析を行い、課題を明確にして練習に取り組む <b>手立て</b> ◆チーム練習 ・ネットを挟んでの縦パス（片側からの投げ入れ） ○簡易ルールを用いて2対2でゲームを行う。 ・ネットを挟んでのレシーブ・トスラリー □レシーバーとセッターが正対する動きを身に付ける。 ルール①サーブはアンダーからの投げ入れ。1本交代 ②毎回ポジションを左右入れ替える ③相手コートへの返球はアンダーハンドかオーバーハンド	ウ	ア  イ ウ	ア  ア  イ	
7 ・ 11 (段階Ⅱ)	○3対3で空いたスペースへの攻防をする ・チーム課題練習 ○試しのゲームⅡ	◆チームのスキルアップ練習 チームの技能に応じた練習内容の選択 <b>手立て</b> ○簡易ルールを用いて3対3でゲームを行う。 □チームで連携して相手コートの空いたスペースを狙って攻撃をする。 □サービス（アンダーハンドサービス）	イ  ウ	イ  イ ウ	ウ	
12 ・ 15 (段階Ⅲ)	○4対4の試合 ○技能テスト  ○単元の評価と振り返り	○正式に近いルールで試合を行う。 ○パス、サービスの技能テストを行う。 □総当たりのリーグ戦を行い、勝ち点でリーグ優勝チームを決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">附中カップバレーボールリーグ公式戦</div>	ア		ウ	イ

7 本時案

(1) 本時の目標

アンダーハンドパスとオーバーハンドパスの既得技能を用いて、仲間と連携してボールをつなぎ、ラリーを続けることができる。

(2) 本時の展開 (本時 5/15)

(○…発問, △…補助発問, □…指示, 説明)

主な学習活動 (下位目標)	教師の働きかけ・ <b>手立て</b> ・【評価方法】	備考
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の課題と自己の技能に応じたStepを確認することができる。</p> <p>2 選択した練習内容でアンダーハンドパス・オーバーハンドパスの基礎技能の習得に向けて練習することができる。</p> <div data-bbox="169 817 628 992" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【期待する生徒間の交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いの動作を分析し、体の使い方について具体的な言語を用いてアドバイスしあいながら活動に取り組んでいる。</li> </ul> </div>	<p>□自己分析カードを基に本時の課題とStepを確認しよう。 【観察】</p> <p>□動作分析を行い、改善点を仲間と共有し、アドバイスしあいながら練習しよう。<b>手立て</b> 【観察】</p> <div data-bbox="671 763 1121 1016" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【選択練習～アンダーハンドパス】</p> <p>ステップ1…バケツキャッチ</p> <p>ステップ2…片側レシーブ</p> <p>ステップ3…片側前後左右レシーブ</p> <p>ステップ4…対人パス</p> <p>【選択練習～オーバーハンドパス】</p> <p>ステップ1…透明半球でキャッチ</p> <p>ステップ2…片側レシーブ</p> <p>ステップ3…片側前後左右レシーブ</p> <p>ステップ4…対人パス</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の動作を客観的に分析させ、明確な課題を持たせる。</li> <li>学習形態…個人</li> <li>ipadを活用して動作を確認し、模範動作と比較して改善点を明確にして互いにアドバイスし合いながら練習させる。</li> <li>学習形態…3人一組</li> </ul>
<p>アンダーハンドパスとオーバーハンドパスを用いて仲間と連携してボールをつなごう</p>		
<p>3 アンダーハンドパス・オーバーハンドパスを活用して返球することができる。</p> <p>(縦割りハーフコート)</p> <div data-bbox="164 1301 632 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レシーブの際に声をかける</li> <li>レシーブの基本の構えをする</li> <li>ボールの正面に入る</li> <li>レシーバーにへそを向ける</li> <li>一生懸命ボールを追う</li> </ul> </div> <div data-bbox="164 1487 632 1659" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【期待する生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いに動きを見合い、技能の視点を意識して、助け合い、励まし合いながら練習している。</li> <li>ボールを相手コートに返すために仲間と連携した動きをしている。</li> </ul> </div>	<p>○仲間と連携してボールをつなぐためにはどのような動作が大切だろうか? 【発表】</p> <p>△レシーバー・セッターそれぞれの役割ごとに考えよう。 【発表】</p> <div data-bbox="660 1339 1145 1610" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【技能の視点】</p> <p>&lt;レシーバー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①声を出してレシーブする</li> <li>②オーバーハンド・アンダーハンドに対応できるように構える</li> <li>③ボールの正面に移動してレシーブする</li> </ol> <p>&lt;セッター&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①レシーバーにへそを向けてボールに反応できるように準備をする</li> <li>②ジャンプスしやすいうように高いトスをあげる</li> </ol> </div> <p>□視点を意識してラリーを続けよう。 【観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数人に当てて、発表させる。</li> <li>学習形態…グループ</li> </ul> <div data-bbox="1190 1346 1409 1375" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>バドミントンコート</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>4面を使用する。</li> <li>各役割の中で、連携して動くことでラリーが成立することを意識させる。</li> </ul>
<p>4 アンダーハンドパス・オーバーハンドパスを活用して空いたスペースを狙った攻防をすることができる。</p> <p>(2対2 オールコート)</p>	<p>□空いたスペースを狙って相手コートに返球しよう。 【観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1セット5点先取</li> <li>サービスは投げ入れ</li> </ul>
<p>5 本時の反省をすることができる。</p>	<p>□本時を振り返り、次時への課題を見つけよう。 【ノート】</p>	<div data-bbox="1166 1839 1442 2007" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価の観点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①技能に関わる具体的なアドバイスができていますか。</li> <li>②役割に応じたボール操作ができていますか。</li> </ol> </div>

